

# 長い間、

# ありがとうございました



11月20日、ハイトピア伊賀5階の多目的大研修室で内保前市長の退任式を行いました。

退任式では、北出市議会議長のあいさつ、味噌教育長の謝辞のあと、集まった職員約80人を前に、退任のあいさつを行いました。

このたび11月20日の任期満了によりまして、伊賀市長を退任いたしました。

平成20年に市長に就任させていただき、伊賀市長として4年間、市民の皆様と「自分たちのまちは自分たちでつくる」を合言葉に、理想の伊賀市に近づけるため、微力ながらも全力を尽くして参りました。この間、市民の皆様方には温かいご支援並びに絶大なるご協力を賜りましたこと、心からお礼申し上げます。

今後は、これまでお世話になりました方々に感謝をいたしつつ、一市民として市民の皆様と一緒にまちづくりに参加させていただきますたいと存じます。

市民の皆様のご健勝ご多幸を心からお祈りいたします。

前伊賀市長 内保 博仁

任期満了に伴い実施された伊賀市長選挙（11月11日投票）で当選した岡本新市長が、11月21日、初登庁し、ハイトピア伊賀5階の多目的大研修室で就任式を行いました。

就任式では、職員約100人を前に訓示を行いました。



このたびの伊賀市長選挙におきまして、市民の皆様を始め各方面からの温かいご支援を賜り、おかげをもちまして市政の重責を担わせていただくことになりました。

市民の皆様からいただきました大きな一票を重く受け止め、私達のできることを市民の皆様と一緒に取り組んで参りたいと考えています。また、今まで以上に危機感を共有し、情報を開示して市民の皆様へ納得していただけるよう決意と情熱をもって誠心誠意努力いたす所存でございます。

今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

伊賀市長 岡本 栄



# これからどうぞよろしく お願いいたします



伊賀市を本当に誇れるまちに。  
子どもや孫たちへ、  
しっかりと引き渡せるまちに。

# 岡本栄新市長が、これからの4年間

## 伊賀市の市政を執り行います

岡本市長は、初登庁した11月21日、市の職員に向けて就任のあいさつをし、これからの市政の執行にあたる決意を述べました。その概要を紹介します。

### 市民一人ひとりの思いを深く受け止め、市政に反映させます

市長は、あいさつの冒頭で、11月に行った市長選挙で25,692の得票があつたことにふれ、「その1票1票を大変に重く受け止めなければいけない。市内のさまざまな場所に出かけ、たくさんの方と話をしましたが、その思いは深く切実なものがありました。市民の願いを、市政に関わるすべての人が受け止め、これからの伊賀市を作っていきたい。」と話しました。

### 風通しのよい職場環境の中で、職員の能力を最大限に活用します

また、市の職員に向けてのメッセージとして、「やる気のある職員の思いを大切にし、市役所の中の風通しをよくすることで、職員が最大限に

力を発揮できるような職場環境づくりを職員とともにめざしたい。」と述べました。そして、これからの伊賀市は若い人の肩にかかっていると、その舵取り役をしていきますと話しました。

### よき企画者、よき外交官 そしてよき経営者をめざします

さらに、市長にとって大事なことは3つあると話した上で、「1番目はよき企画者であること。2番目は、よき外交官であること。そして、3番目は経営者としての感性を持つことです。」と、信条を紹介しました。そして、自身が民間企業に長く勤めた経験を持つことから、民間の感性をしっかりと吹き込んでいくことにも意欲を見せました。

また、市長自身も含めた職員一人ひとりが倫理観を持って職務に当たることが必要だと話しました。

### 合理的な説明ができる 透明な市政を実現します

そして、「職員が今まで以上に市政に対して危機感を持ち、市民の皆さんと危機感を共有する、そのためにすべての情報を包み隠さず開示する。情報を開示して、市民の皆さんに納得していただけるような行政を進めなければならぬ。」と続けました。また、これまでに合理的な説明、説明責任を市が果たしていたのかわりに疑問に思っていたことを挙げ、今後の情報開示について前向きな姿勢を示しました。

### よりよい伊賀市にするため 誠心誠意、仕事をします

就任のあいさつの最後に、市長は「伊賀市を本当に誇れるまちに、子どもたち、孫たちに、しっかりと引き渡せるまちに再生していきたい。」と決意を述べ、集まった職員に向かって、「がんばりましょう。よろしくお願ひします。」と呼びかけました。